

201129056A

厚生労働科学研究費補助金

地域医療基盤開発推進研究事業

歯科診療所を中心とした臨床研修施設群を構築するための

歯科医師臨床研修実施体制構築に関する研究

(課題番号：22213501)

平成23年度 総括研究報告書

主任研究者 藤井一維

平成24年3月31日

総括研究報告書目次

目 次

1. 歯科医師臨床研修施設である診療所を中心とした医療連携体制に関する研究	—————	1
藤井一維 他		
2. 歯科診療所で実施された歯科医師臨床研修の事例に関する検討	—————	16
俣木志朗 他		
3. 歯科診療所で臨床研修を行っている研修歯科医の分布に関する研究 (平成23年度調査)	—————	22
平田創一郎 他		

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

分担研究報告書

歯科医師臨床研修施設である診療所を中心とした医療連携体制に関する研究

研究分担者 藤井 一維（日本歯科大学教授）
平田創一郎（東京歯科大学准教授）
俣木 志朗（東京医科歯科大学教授）
研究協力者 二宮 一智（日本歯科大学新潟病院准教授）
五十嵐博恵（Uクリニック 五十嵐歯科）
岩上 好伸（岩上歯科医院）

研究要旨：平成 18 年度に必修化された歯科医師臨床研修は歯科診療所がその中心を担っている。歯科診療所を中心とした臨床研修施設群を構成するために、病診連携・診診連携と医療安全管理体制並びにそれらの研修指導體制を構築し、新たな歯科医師臨床研修プログラムの確立を図る事が必要である。

歯科医師臨床研修の目標である一般歯科診療に関する研修や病診連携・診診連携、在宅歯科診療等に関しては、歯科診療所での研修が適していると言われており、近年、非常に重要視されている医療安全管理体制についても、歯科診療所での研修はきわめて重要性が高い。しかしながら、研修歯科医の地域偏在から近隣に他の研修歯科医がおらず所謂孤立状態になっている者もいる。合わせて、管理型施設との症例に関する相談や各種報告事項を円滑に行えない環境が存在する。

以上の事から、歯科診療所を管理型臨床研修施設とする臨床研修施設群を構築するための病診連携・診診連携と医療安全管理体制ならびに研修指導體制の整備について検討し、昨年度に構築したプログラムシステムを利用し、連携体制の構築の有効性を検証した。

A. 研究目的

平成 18 年の「今後の歯科保健医療と歯科医師の資質向上等に関する検討会中間報告書」において、歯科医師の地域偏在を解消するための取組の必要性がうたわれている¹⁾。歯科医師臨床研修の臨床研修施設群は、管理型臨床研修施設が都道府県をまたいで協力型臨床研修施設と群を形成されている。また、協力型臨床

研修施設での研修期間は新歯科医師臨床研修制度の規定上、最短で 3 か月、最長で 9 か月であり、管理型臨床研修施設よりも協力型臨床研修施設で長期間研修を実施する研修プログラムもあり、一般歯科診療所での研修が重要であることは言うまでもない。すでに、平成 18 年度から 21 年度まで研修歯科医の分布状況に地域偏在が認められること^{2, 3, 4, 5)}が明

らかとなっているが、その解消策は未だ行われていない。

また、病診連携・診診連携と医療安全管理体制並びにそれらの研修指導体制を構築し、新たな歯科医師臨床研修プログラムの確立を図る事が必要であるが、この地域偏在の遠隔の環境でこれらを円滑に遂行する手段がないのが現状である。

そこで、これらの問題点を解決するべく、昨年度に本研究で構築したインターネット回線を使用した遠隔連携のプログラムを実際に運用し、研究協力者である歯科診療所と管理型施設等の良好なコミュニケーションが確立できるか否かを検証することを本研究の目的とした。

B. 研究方法

1. 使用したプログラムの概要 (表1)

使用したプログラムが有する機能は以下の通りである。

1) 管理型および協力型間の遠隔カンファレンス

(1) テレビ会議に類似したシステムを有し、相互の映像および音声リアルタイムで共覧できる。

(2) エックス線または口腔内写真等の高画質画像の相互共有ができる。

(3) 症例発表等プレゼンテーションが可能でそれらを共覧でき、指導医からのリアルタイム添削も可能である。

2) メンタル面のサポート機能

(1) テレビ会議に類似したシステムを使用することで face to face の相談が可能である。

(2) 研修歯科医が自宅で指導医や他施設の研修歯科医と相談等が可能である。

3) 医療情報使用等を考慮した通信上のセキュリティの確保

症例検討、メンタルケア等に使用することから、IP-VPN 相当の専用回線⁶⁾(メディア@McomPlatform) である。

4) その他の機能

(1) 臨床研修における協力型施設または研修歯科医に対するアンケートの実施できる。

(2) カンファレンスを実施するにあたり、その記録として動画で記録することができる。

(3) 1対1のみならず、複数施設同時アクセスが可能である。

2. プログラムの運用

研究分担者の所属する管理型施設および協力型施設のプログラム責任者、指導歯科医および研修歯科医にシステムを使用できるよう、ログインのための ID とパスワードを付与した。

また、本システムにログインするための専用アプリケーション(ログインプログラム)を配布した。

各協力型施設には研修担当者およびプログラム開発会社が訪問し、使用 PC やカメラ等の必要オプション品を貸与した上で、システムについて説明した。

使用については、特に制限はせず、自由に各施設で使用してもらうように依頼した。

管理型施設のプログラム責任者には、必ずメンタル面のサポートを目的とした face to face の面談を行うよう依頼した。

なお、研修歯科医の自宅でのネット環境は各自で確保した。

表1 システム機能

ログイン認証	IDとパスワード利用したログイン
ホワイトボード機能	画像貼り付けと相互の書込み
共有機能	Powerpoint、Word、Excel等を共有して権限者が操作
ファイル送信機能	カンファレンス中に参加者(個別でも可能)に送信
権限委譲機能	全機能が操作可能な権限を設定
チャット機能	チャット及び個別メッセージの送信
記録機能	動画(画面)音声の記録が個別のPCに可能 (再生は別機能で再生も可能)
アンケート集計機能	質問やアンケートの実施

図1 システム概念図

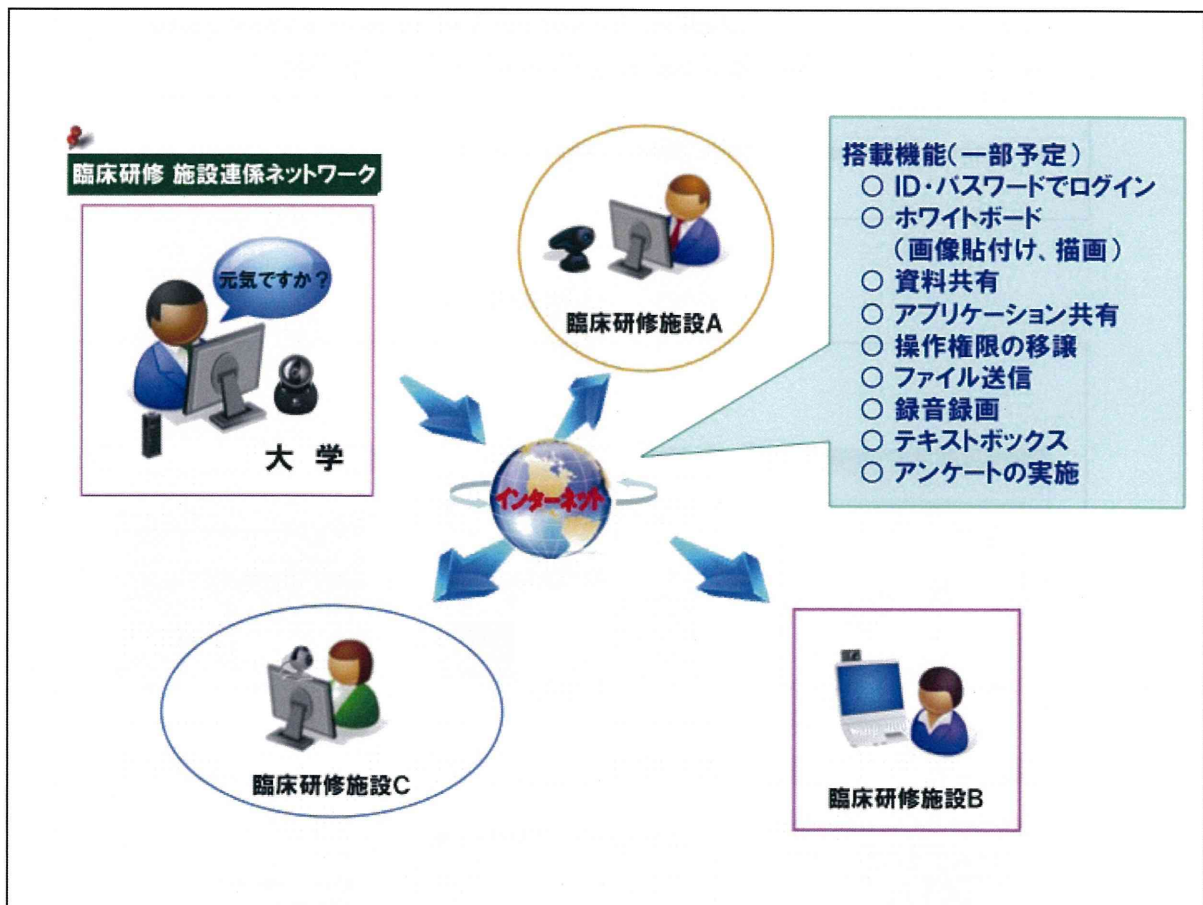


表 2 画面構成リスト

ログイン	ログイン画面でユーザーID・パスワード・名前を入力
操作権限(議長権)	最初に会議室に入室した人に操作権限(議長権)が付与され権限がないと操作出来ない機能があり、権限は移動が可能
資料共有	WebページやWord・Excel・PPTのファイルを共有、操作権限を持つ人のみ描画等の操作が可能
ホワイトボード(画像共有)	画像貼り付け(jpeg, jpe, gif, bmp等)・マーキング(全拠点同時描画)・ページ追加・文字入力・保存・印刷が可能
アプリケーション共有	指定した(事前にDTで開き選択した)特定のアプリケーション(Word,Excel,PowerPoint等)を権限を持つ人が操作が可能
ファイル送信	会議中に各種ファイルを個別あるいは参加者全員へ送信可能(サイズ10MBまででzip形式も送信が可能)
アンケート	参加者に質問やアンケートを実施することが可能、投票の結果は集計画面にリアルタイムで反映
チャット	全員での文字チャット、テキスト形式で保存でき議事録にも利用が可能、貼られたURLをクリックすると開くことが可能
録音・録画	参加者が個別に録音・録画が可能、録画時間指定やMedia Playerで再生が可能
スケジュール	カレンダー形式のスケジュールから会議予定を登録・閲覧でき、カレンダーから会議室に入室可能
デスクトップ共有	デスクトップ画面を共有し権限を持つ人が画面上の全ての機能を操作が可能

その他、選択可能な画面表示形式、画面キャプチャ、画面拡大、会議招集メール配信などの機能を予定

図 2 各展開画面

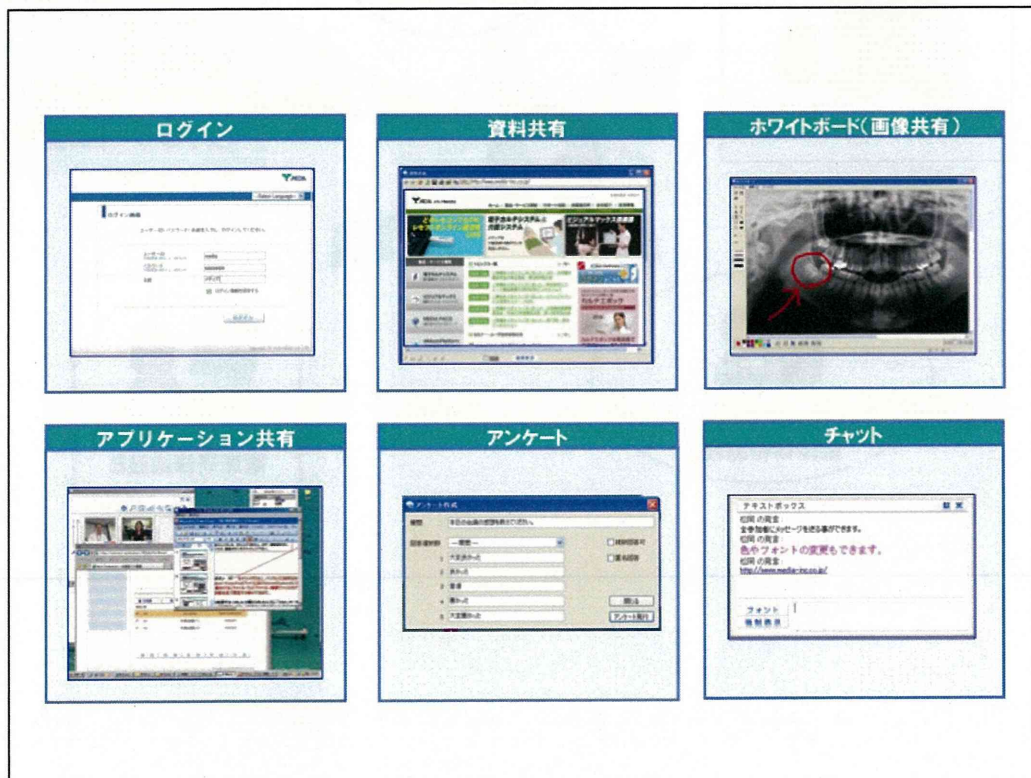


図3 セキュリティーシステム

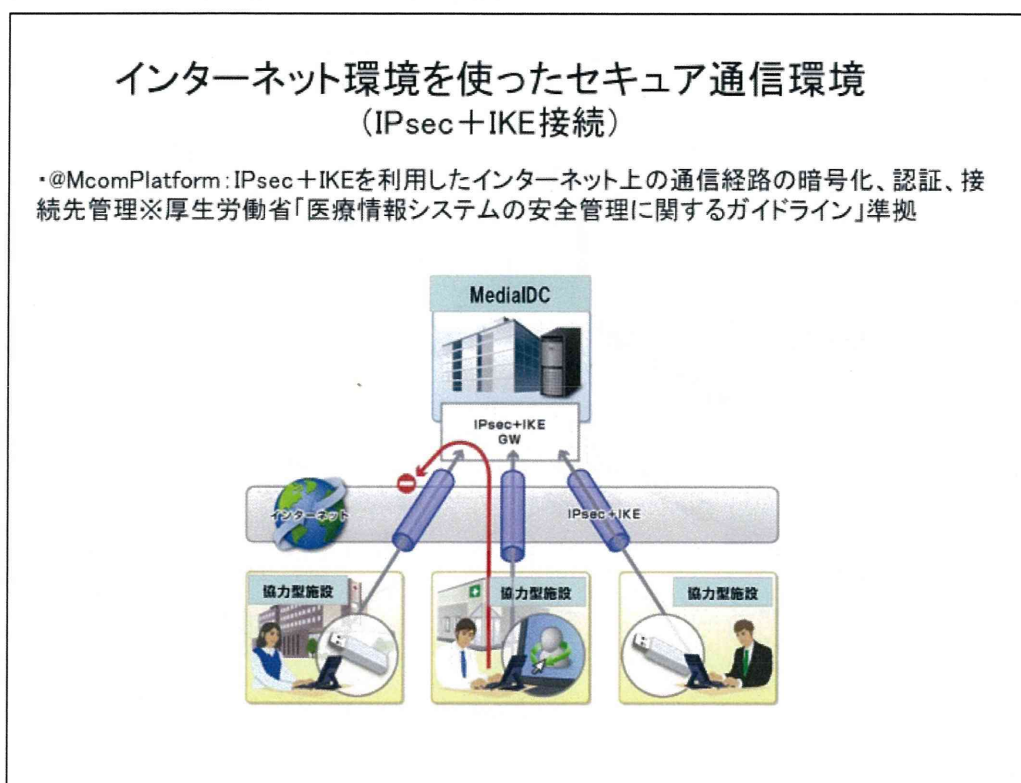


図4 セキュリティー詳細

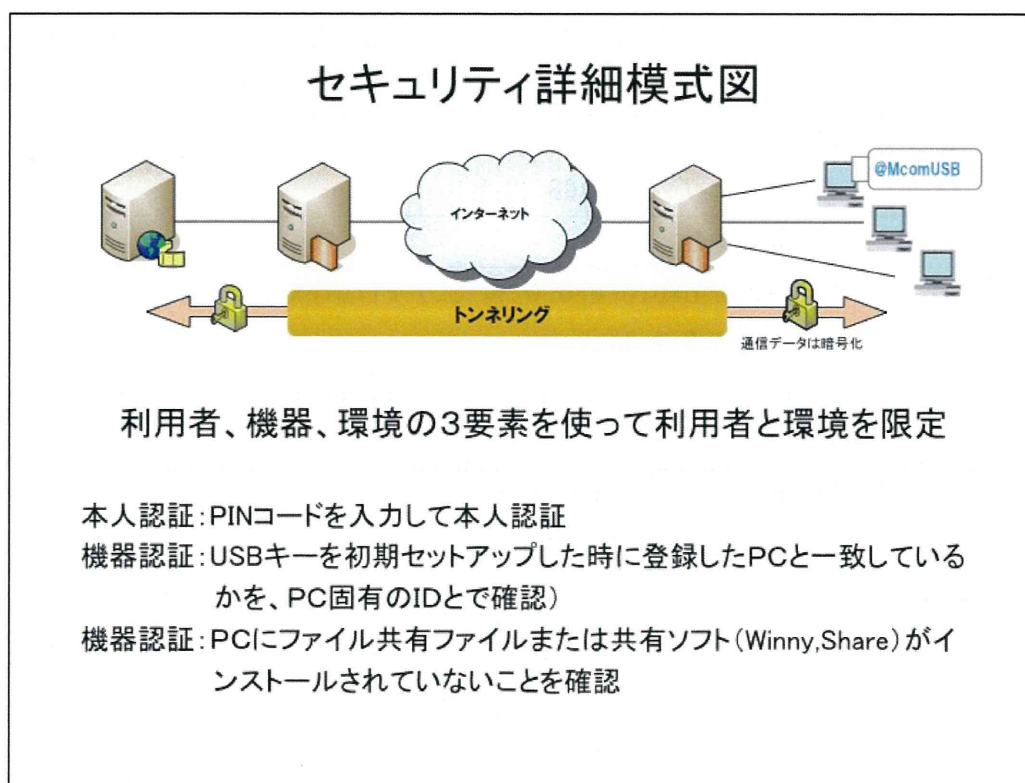


図5 ネットワーク構成

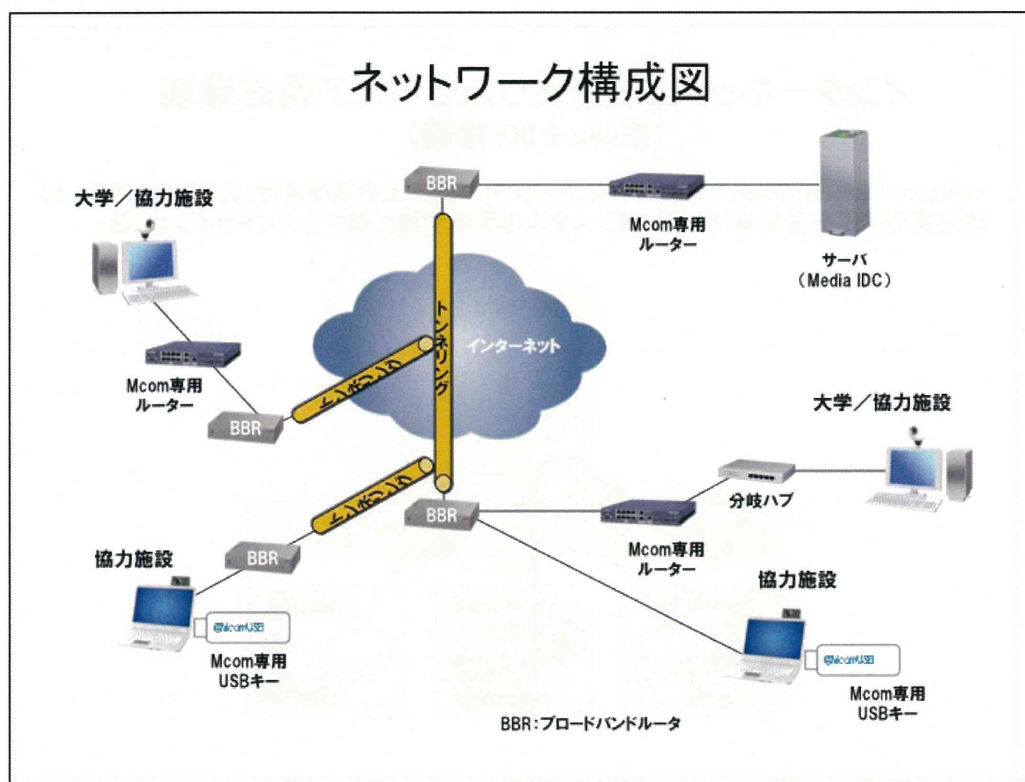


表3 装置環境

OS	Windows XP / Windows Vista / Windows 7
CPU	Core 2 Duo 2GHz 以上
メモリ	1GB 以上 (Vista / 7 では 2GB 以上)
空き HDD 容量	100MB 以上
ブラウザ	Internet Explorer 6.0 以上 / Firefox 2.0 以上 Opera 9.5 以上 / Safari 3.1 以上 Google Chrome 0.2 以上 / Netscape 7.1 以上 Mozilla 1.4 以上
DirectX	DirectX 9.0c 以上
サウンドカード	Sound Blaster 互換を推奨
必要ソフト	ActiveX (自動インストール)
周辺機器	PC カメラ (USB)、マイク・スピーカーまたはヘッドセット (ノイズキャンセラー付またはエコーキャンセラー付を推奨)

図 6 必要備品等

システム環境

少人数の場合	どちらにも必要なもの	多人数の場合
	 がつながる環境と...	
<p><Webカメラ></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  Logicool QCAM-200SX </div> <div style="text-align: center;">or</div> <div style="text-align: center;">  Logicool QCAM-200R </div> </div> <p style="text-align: center;">+</p> <p><マイクスピーカー></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  YAMAHA PJP-10UR </div> <div style="text-align: center;">or</div> <div style="text-align: center;">  YAMAHA PJP-20UR </div> </div>	<div style="text-align: center;">  デスクトップPC </div> <div style="text-align: center;">  ノートブックPC </div>	<p><Webカメラ></p> <div style="text-align: center;">  Canon VC-C50i <small>※ビデオキャプチャ機器が必要</small> </div> <p style="text-align: center;">+</p> <p><マイクスピーカー></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  Panasonic KX-NT700N </div> <div style="text-align: center;">or</div> <div style="text-align: center;">  YAMAHA PJP-50USB </div> </div>

※掲載の周辺機器は利用可能な機器の一部を掲載

3. システムの有用性の検証

今回作成したシステムが有用であるかな否かの検証は、アンケートによって実施した。

研究分担者の所属する施設 3 施設（大学病院である管理型・協力型）とこれら施設の協力型施設および管理型施設である 2 診療所で本システムを利用した者 12 名を対象とした。

質問項目は、

- 使用した PC の OS
- 使用した通信環境
- 使用者の立場
- 使用した（通信した）場所
- 使用頻度
- 同時に入室した人数
- システムを使用した目的
- PC のシステム環境の設定
- システムのセキュリティ
- 画面のレイアウトの使用感
- 利用中に共有・送信したソフト（資料）
- システム使用で利用した機能の仕様
 - ホワイトボード
 - 資料共有について
 - アプリケーション・デスクトップ共有
 - 録音・録画・再生
 - テキストボックス
 - ファイル送信

■ HD画質対応マジックビュー

■ アンケート機能

■ 議長権

- 本システム活用が有用だと思う機能
- 本システムの活用で期待できる効果
- システムを使用して良かったこと
- システムの改善すべきこと
- その他

とした。

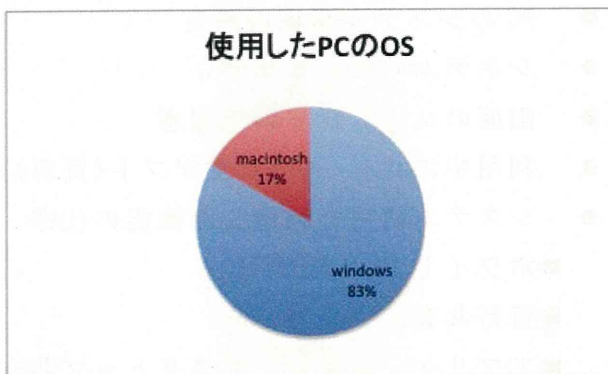
(倫理面への配慮)

本研究における調査は、各歯科医師臨床研修施設から得た情報を用いて行ったものである。提供された結果には、研修歯科医個人の情報は含まれていないが、調査の対象歯科医師臨床研修施設には本研究・調査の目的を説明し、同意を得た上で情報の提供を受けた。なお、本研究は、日本歯科大学新潟生命歯学部倫理委員会の審査を受け承認を得た(許可番号 NCNG-H-85)。

C. 結果

アンケートは本調査に関与した 12 名全員から回収した。なお、無回答等の無効なものはなかった。

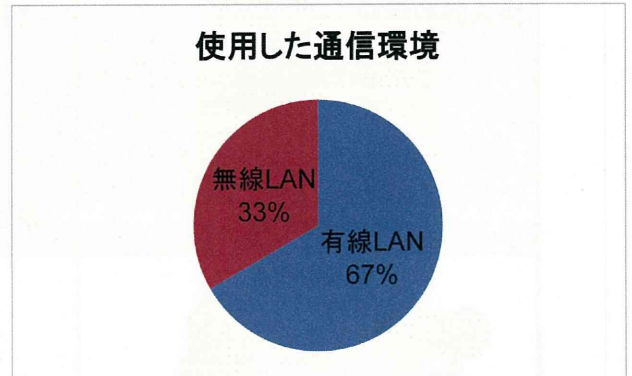
1-1. 使用した PC の OS



使用した PC の OS は、そのシステムの条件から、windows が最も多かった。本システムは、windows 仕様であり、回答で

macintosh とあったものは、macintosh のバージョンアップソフトまたは、BOOTCAMP で使用したものである。

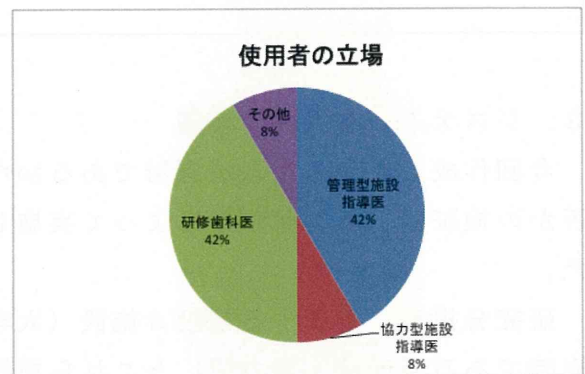
1-2. 使用した通信環境



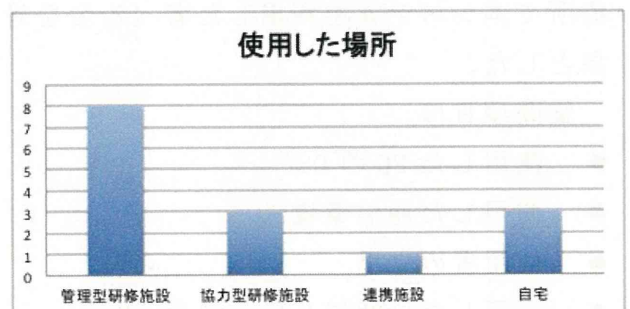
使用した通信環境については、有線 LAN によるものが 2 / 3 を占めていた。特に、本調査のセキュリティは保たれているものの、盗聴等の恐れを懸念したものと思われる。また、院内では、固定 PC と使用していることがその理由と考えられた。

2-1. 使用者の立場

本アンケートの回答者分布である。

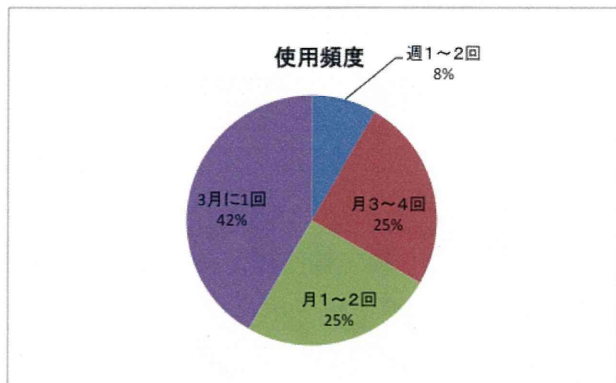


2-2. 使用した場所 (複数回答有)



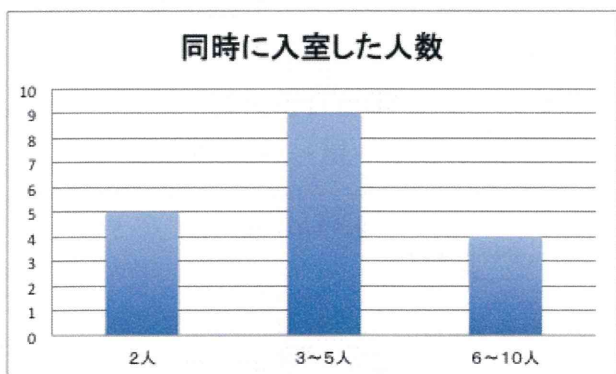
使用場所については、その大半が院内であり、自宅と回答した研修歯科医が3人であったことから、20%の研修歯科医は院内で使用したと考えられる。協力型施設に向向中の場合などで、メンタルをフォローする必要がある場合は自宅での使用が望ましいことから、これらの利用と考えられた。

2-3. 使用頻度



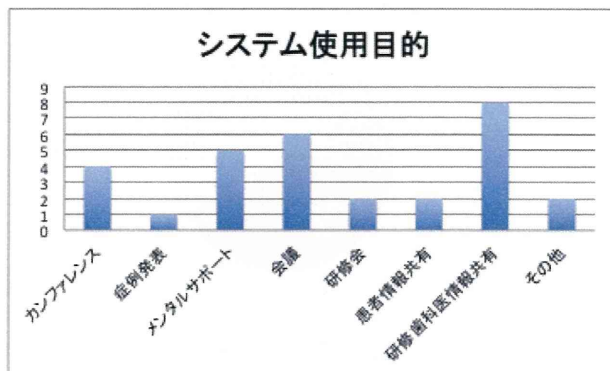
今回の研究では、システムの有効性を検証することが目的であることから、その使用については特に強制しなかったが、概ね50%以上が月に1回は使用した結果となった。

2-4. 同時入室した人数



システム使用時に同時に入室した人数は3~5人が最も多く、3人以上の使用が多かった。研修歯科医が5名回答していることから2人の場合とは、指導医との使用と考えられる。なお、本質問は重複（複数）回答である。

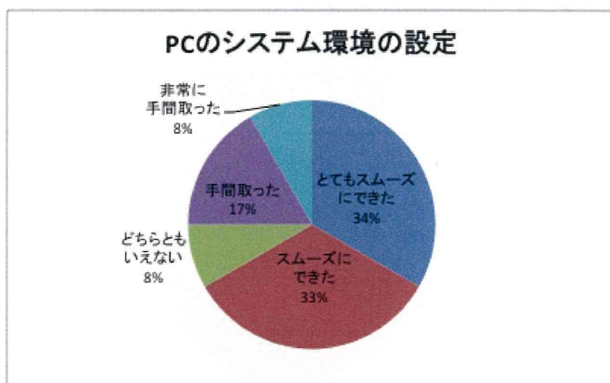
2-5. システム使用目的



研修歯科医の情報共有が最も多かった。これは管理型と協力型の指導医と連絡等に使用されたと思われる。会議については、医療安全に関する検討を全施設で同時に行ったことがこの数字に反映されている。

なお、メンタルサポートが5件であったことから、研修歯科医と管理型等の指導医との相談等に使用したと考えられる。

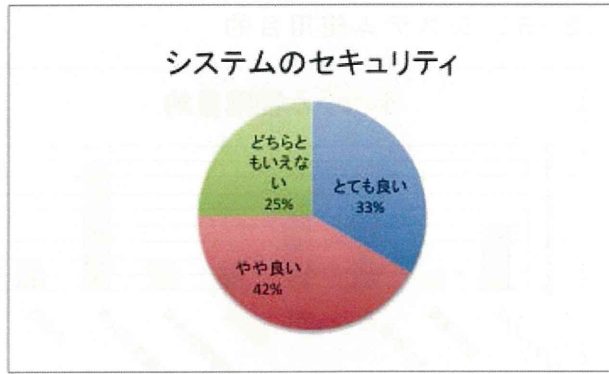
3-1. PCのシステム環境の設定



概ね、70%が設定がスムーズであったことから、導入は容易と思われた。非常に手間取ったと回答した1件（8%）は、macintoshの使用者であり、本システム導入前準備のwindowsのインストールから行っていたためと思われる。

手間取ったの2件（16%）は、研修歯科医であり、自宅でのネット環境の設定から行ったものである。

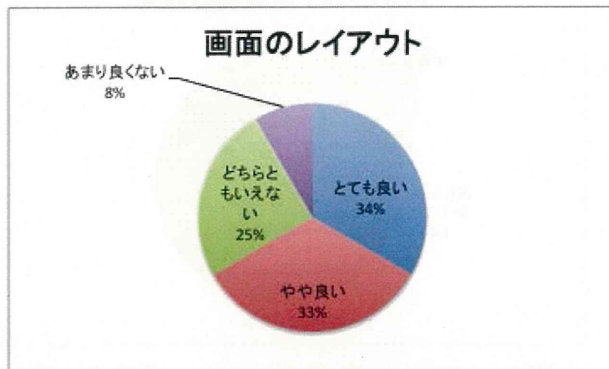
3-2. システムのセキュリティ



本来、セキュリティは体感できるものではなく、善し悪しを判断できないが、この質問に対する回答の意図は、専用アプリをインストールし、かつ、システムに ID およびパスワード入力でログインしていることから、良いと判断していると思われる。

プログラム製作時から、このセキュリティには十分な配慮をしておき、また、運用開始前にそのシステムを十分に説明した影響もあると思われる。

3-3. 画面のレイアウト・使用感



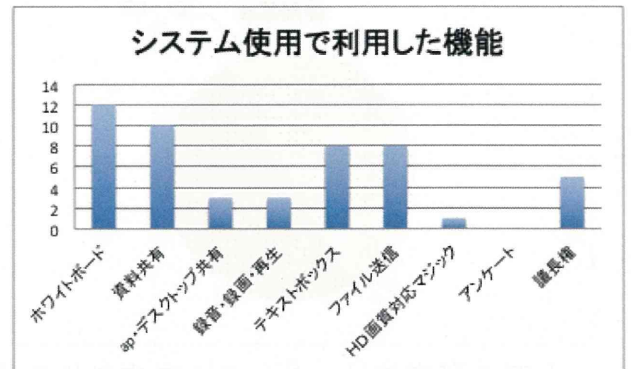
概ね 70% が良いとしており、使用感を含むレイアウトには問題はなかったと思われる。

3-4. 共有・送信したソフト（資料）

本質問は複数回答可としており、word の共有が多かったことから、研修歯科医の症例レポートや研修報告等の添削等に主に使用されたと思われる。



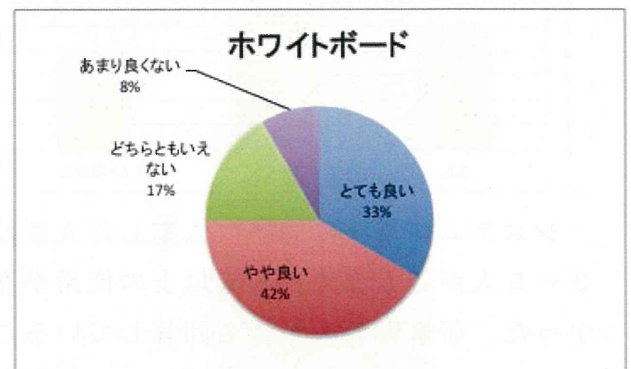
3-5. 利用した機能



自由に記載、共有できるホワイトボードの使用が最も多かった。また、会議等で指導医が研修歯科医に指示を出せるテキストボックスの使用も多かった。動画の保存は、本来、使用の検証に用いることができ、特に医療安全に関する会議に有効と思われたが、使用頻度は少なかった。

各システムに関する使用感

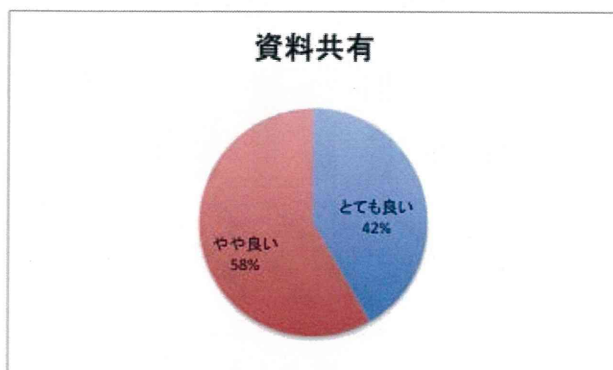
4-1. ホワイトボードについて



1 名を除き、悪いという印象はないようである。実際に使用した頻度もホワイトボ

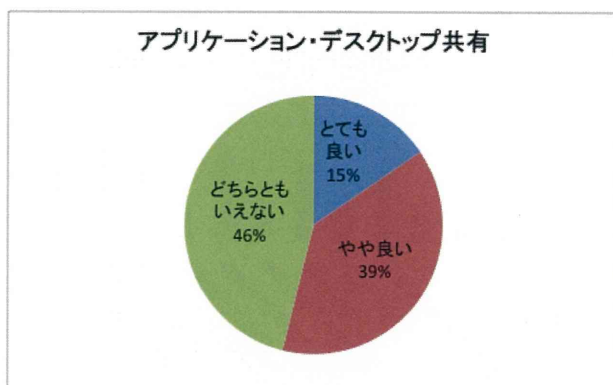
ードが多く、講義やスモールグループディスカッションのような感覚で使用できるメリットがあることがこの結果となったと考える。

4-2. 資料共有



資料が共有できることは遠隔にいる障害を回避できることから、全員が良いと回答したと考える。

4-3. アプリケーション・デスクトップ共有

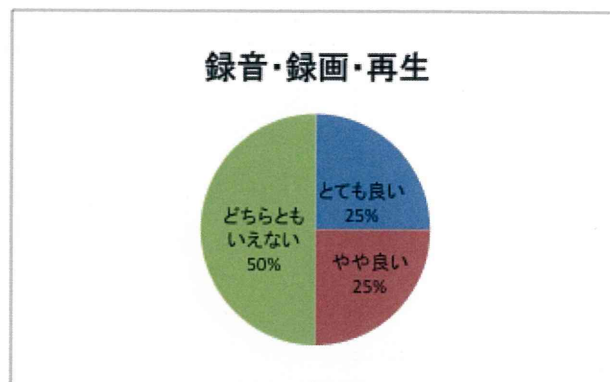


概ね、50%が良いと考えているが、ファイル共有で目的が完了していると思われ、デスクトップまで共有する必要がなかったものと思われる。

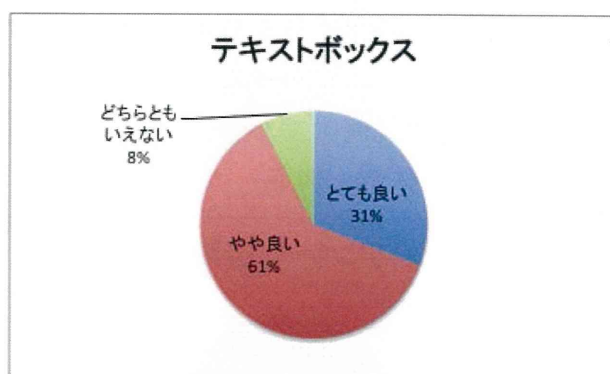
4-4. 録音・録画・再生

このシステム製作で重視した機能の一つであったが、事前の使用方法、目的を提示しなかったこともあって、使用頻度も低かった。その結果、良いとの判定が50%である一方で、どちらともいえないも50%であ

ったことからその有効性が今一つ認識されなかったと思われる。

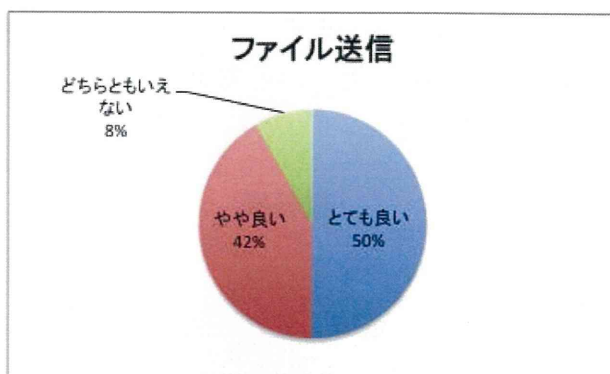


4-5. テキストボックス



テキストボックスは会議中などに研修歯科医や指導医間のメッセージを相互に送ることができることから有用性が高いと思われ、その結果、1名を除く11名が良いと回答したと考える。

4-6. ファイル送信



会議中も含め、相互に使用するファイルを送信できるため、別のメールソフトを介さずにできるメリットがこの高い評価にな

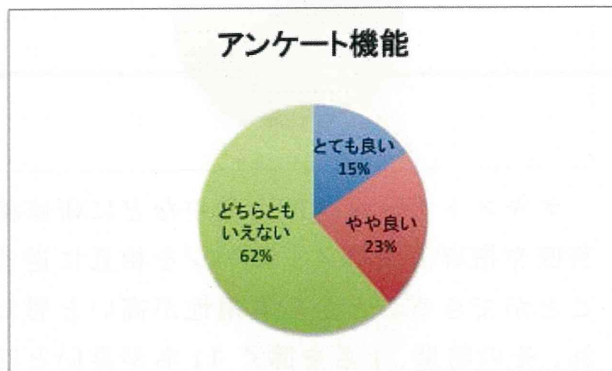
ったものとする。

4-7. HD画質対応マジックビュー



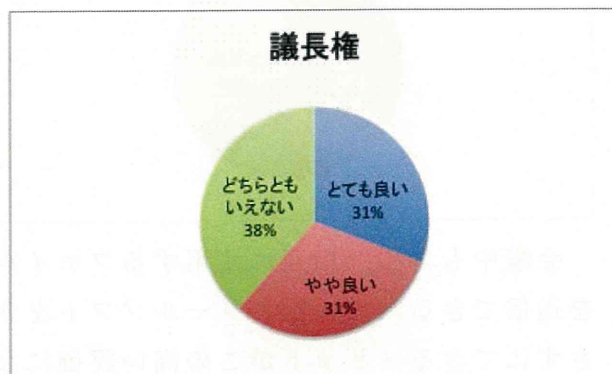
使用頻度は少ないものの、機能やその動画品質に対する評価と思われる。今回の試用では使用されなかったが、臨床研修の指導には有効な機能である。

4-8. アンケート機能



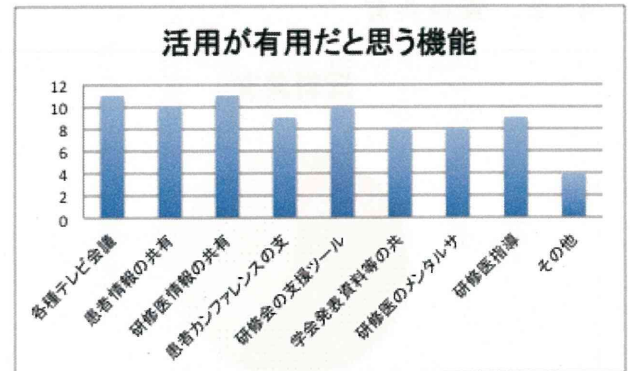
今回のアンケートをこのシステムで実施しなかったこともあり、その結果として、半数以上が評価できず、「どちらともいえない」と回答したものとする。

4-9. 議長権



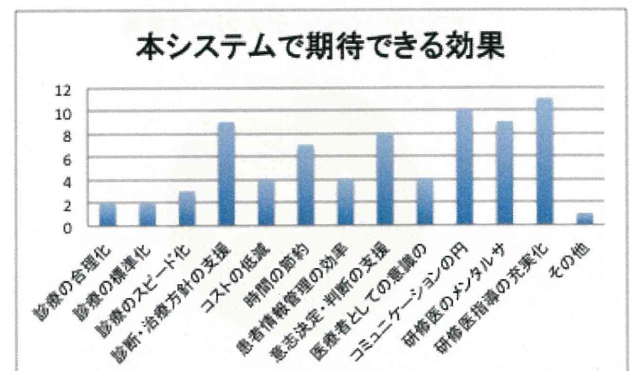
この機能を使用するのは指導医が主であると思われるが、結果として、研修歯科医は全員「どちらともいえない」と回答した。

5-1. 有用だと思う機能



今回、このシステムを検討した主たる目的は研修歯科医の情報共有やメンタルケアを遠隔で行うツールの検討であることから、今回の結果は概ね、その目的が達成できることを明らかにした。

5-2. 活用で期待できる効果



上記の結果から、研修歯科医の指導充実、コミュニケーションの円滑化、研修歯科医のメンタルサポートの支援および診断・治療方針の支援に期待できるとの回答が多かった。このことは、本システムが歯科診療所を管理型臨床研修施設とする臨床研修施設群を構築するための病診連携・診診連携と医療安全管理体制ならびに研修指導体制の構築に有効であること示すものである。

3-5. システム使用で利用した機能はどれですか(複数回答可)。

- 1) ホワイトボード
- 2) 資料共有
- 3) アプリケーション・デスクトップ共有
- 4) 録音・録画・再生
- 5) テキストボックス
- 6) ファイル送信
- 7) HD画質対応マジックビュー
- 8) アンケート
- 9) 議長権

4-1. ホワイトボードについて

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-2. 資料共有について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-3. アプリケーション・デスクトップ共有について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-4. 録音・録画・再生について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-5. テキストボックスについて

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-6. ファイル送信について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-7. HD画質対応マジックビューについて

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-8. アンケート機能について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

4-9. 議長権について

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

管理型・協力型施設連携システムに関するアンケート調査
該当する項目の回答欄から○を選択してください。
その他や自由記載はそのまま入力(記載)願います。

1-1. 使用したPCのOSはどれですか(複数回答可)。

- 1) windows
- 2) macintosh
- 3) その他

1-2. 使用した通信環境はどれですか(複数回答可)。

- 1) 有線LAN
- 2) 無線LAN
- 3) モバイル
- 4) その他

2-1. 使用者(あなた)の立場はどれですか。

- 1) 管理型施設指導医
- 2) 協力型施設指導医
- 3) 連携施設指導医
- 4) 研修歯科医
- 5) コメディカルスタッフ
- 6) その他

2-2. 使用した(通じた)場所はどこでしたか(複数回答可)。

- 1) 管理型研修施設
- 2) 協力型研修施設
- 3) 連携施設
- 4) 自宅
- 5) その他

2-3. 使用頻度はどの程度ですか。

- 1) 毎日
- 2) 週1~2回
- 3) 週3~4回
- 4) 週5~6回
- 5) 月3~4回
- 6) 月1~2回
- 7) その他

2-4. 使用時に同時に入室した人は何人(自分含む)ですか(複数回答可)。

- 1) 2人
- 2) 3~5人
- 3) 6~10人

2-5. システムを使用した目的はどれですか(複数回答可)。

- 1) 患者カンファレンス
- 2) 症例発表
- 3) 研修医のメンタルサポート
- 4) 各種テレビ会議
- 5) 研修会
- 6) ライブ処置
- 7) 患者情報の共有
- 8) 研修医情報の共有
- 9) その他()

3-1. PCのシステム環境の設定はいかがでしたか。

- 1) とてもスムーズにできた
- 2) スムーズにできた
- 3) どちらともいえない
- 4) 手間取った
- 5) 非常に手間取った

3-2. システムのセキュリティはいかがでしたか。

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

3-3. 画面のレイアウトの使用感はいかがでしたか。

- 1) とても良い
- 2) やや良い
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり良くない
- 5) 非常に良くない

3-4. 利用中に共有・送信したソフト(資料)はどれですか(複数回答可)。

- 1) 画像ソフト(エックス線、口腔内写真等)
- 2) power point
- 3) word
- 4) excel
- 5) その他

5-1. 本システム活用が有用だと思う機能はどれですか(複数回答可)。

- 1) 各種テレビ会議の支援ツール
- 2) 患者情報の共有
- 3) 研修医情報の共有
- 4) 患者カンファレンスの支援ツール
- 5) 研修会の支援ツール
- 6) 学会発表資料等の共有
- 7) 研修医のメンタルサポート
- 8) 研修医指導
- 9) その他

5-2. 本システムの活用で期待できる効果はどれですか(複数回答可)。

- 1) 診療の合理化
- 2) 診療の標準化
- 3) 診療のスピード化
- 4) 診断・治療方針の支援
- 5) コストの低減
- 6) 時間の節約
- 7) 患者情報管理の効率化
- 8) 意志決定・判断の支援
- 9) 医療者としての意識の向上
- 10) コミュニケーションの円滑化
- 11) 研修医のメンタルサポートの支援
- 12) 研修医指導の充実化
- 13) その他

自由記載(それぞれの項目について記載をお願いします)

- 1) システムを使用して良かったこと

- 2) システムの改善すべきこと

- 3) その他

ご協力ありがとうございました。

D. 参考文献

- 1) 歯科医師の需給に関する検討会報告書(平成10年5月29日), 厚生省
- 2) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成21年度総括・分担報告書報告書(平成22年3月), 平成21年度厚生労働科学研究地域医療基盤開発推進研究事業
- 3) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成18年度総括・分担報告書報告書(平成19年3月), 平成18年度厚生労働科学特別研究事業
- 4) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成19年度総括・分担報告書(平成20年3月), 平成19年度厚生労働科学研究医療安全・医療技術評価総合研究事業

- 5) 俣木志朗ら:新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究 平成20年度総括・分担報告書報告書(平成21年3月), 平成20年度厚生労働科学研究地域医療基盤開発推進研究事業
- 6) 医療情報システムの安全管理に関するガイドライン. 第4.1版. 平成22年2月. 厚生労働省

E. 研究発表

- 1) 平田創一郎, 俣木志朗, 秋山仁志, 新田浩, 大川由一, 藤井一維, 酒寄孝治, 岡田真人, 眞木吉信, 石井拓男:研修歯科医の地域偏在の動向(H18~H20年度), 第29回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 平成22年7月23, 24日, 盛岡市

F. 知的財産権の出願・登録状況
なし

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
分担研究報告書

歯科診療所で実施された歯科医師臨床研修の事例に関する検討

- 研究分担者 俣木 志朗（東京医科歯科大学教授）
平田 創一郎（東京歯科大学准教授）
藤井 一維（日本歯科大学教授）
- 研究協力者 関本 恒夫（日本歯科大学新潟病院教授）
岡藤 範正（松本歯科大学大学院教授）
葛西 一貴（日本大学松戸歯学部教授）
鎌田 政善（奥羽大学歯学部教授）
仲谷 寛（日本歯科大学附属病院教授）
樋口 勝規（九州大学病院教授）
水谷 太尊（日本歯科大学新潟生命歯学部准教授）
杉戸 博記（東京歯科大学准教授）

研究要旨：我が国の歯科医療は、その大部分が地域歯科診療所において実践されていることから、歯科医師臨床研修制度において協力型臨床研修施設である歯科診療所で臨床研修を実施することは、研修歯科医の近未来のニーズにマッチしているばかりでなく、ひいては歯科医療の質の向上につながるという点で、極めて重要な役割を果たしている。今後、さらに歯科診療所が臨床研修制度に参入する事例は増加することと思われる。このような背景から、歯科診療所で研修を行った際に、良かった事例と、トラブルになった事例について、臨床研修施設群方式の臨床研修を実施している歯科大学・大学歯学部附属病院のプログラム責任者等からヒアリングを行った。その結果、良い研修を行うためには、スタッフの協力体制やカリキュラム・フィードバックの充実、管理型臨床研修施設との緊密な連携体制が必要であり、これらを欠くとトラブルを招くおそれがあること。また、当然ではあるがルールへの遵守は最低限の要件であることが明らかとなった。臨床研修施設には、これらの点に十分に配慮して臨床研修を実施することが望まれる。

A. 研究目的

平成 18 年度の歯科医師臨床研修必修化以降、歯科大学・大学歯学部附属病院

に在籍する研修歯科医の比率は 8 割前後で推移しており、実際に研修歯科医が研修を受けた施設の割合でも 6 割弱が歯科

大学・大学歯学部附属病院となっていることから¹⁾、歯科医師臨床研修制度に占める歯科大学・大学歯学部附属病院の役割が非常に大きいことは明らかである。一方、研修の実施内容については、単独型・管理型臨床研修施設より協力型臨床研修施設の方が自験ケース数は多く、臨床研修プログラムの内容を充実するために必要なものとして、研修歯科医自らが「自験主体の診療実践型研修」を挙げていることから、協力型臨床研修施設である歯科診療所での研修の実施は、研修歯科医の資質の向上に重要な役割を果たしていることも明らかとなってきた²⁾。

平成 21 年度に開催された厚生労働省の歯科医師臨床研修推進検討会においても、大学病院に研修プログラムが集中し、歯科診療所が中心となって実施される研修プログラムが少ないこと等が課題とされたところである³⁾。

協力型臨床研修施設である歯科診療所数は平成 18 年度の 1,166 施設から平成 23 年度には 1,767 施設と増加の一途をたどっているが⁴⁾、実際に歯科診療所で研修を受けた研修歯科医の割合は増えておらず⁵⁾、また、臨床研修施設としての指定を受けたもの研修歯科医を受け入れたことのない歯科診療所も少なくないと想像される。

歯科診療所が中心となって実施される研修プログラム、すなわち歯科診療所が単独型・管理型臨床研修施設となるためには、まず、協力型臨床研修施設としての研修歯科医受入れの実績が必要である。今後、ますます臨床研修への参入が増えると

考えられている歯科診療所が、研修歯科医を受け入れ、よりよい研修を実施するためには、どのような点に気をつければ良いのか、また、研修管理委員会が協力型臨床研修施設を統率するにはどのような指導が必要かを明らかにすることは、歯科医師臨床研修制度の発展に不可欠なことである。このことから、実際に協力型臨床研修施設である歯科診療所で研修を行った際に、良かった事例と、トラブルになったなど気をつけなければならない事例について検討を行った。

B. 研究方法

群方式の研修プログラムを実施している歯科大学・歯学部附属病院においてプログラム責任者、副プログラム責任者またはそれに準ずる歯科医師臨床研修に携わる者を対象に、協力型臨床研修施設である歯科診療所での臨床研修を行った際に、良い臨床研修が実施された事例および良くなかった事例についてヒアリングを行った。なお、今回は研修歯科医の責によらない事例についてのみ、検討対象とした。

すべての事例について、個別の施設名や個人名など、個人情報については匿名化した上で回答してもらった。

(倫理面への配慮)

本研究における調査は、各歯科大学・歯学部附属病院の担当者からのヒアリングであり、完全に個人情報を匿名化して回答してもらった上で記録した。また、集計にあたっては事例を抽象化し、個別事例を特定できないよう配慮を行った。

C. 研究結果

1. 協力型臨床研修施設である歯科診療所で行われた研修の良い事例

- 意見が多かったものから順に列挙する。
- ・スタッフが臨床研修制度・研修歯科医について十分理解しており，協力体制ができています。
 - ・カリキュラムが十分に個々の研修歯科医に対応できている。
 - ・フィードバック（形成的評価）が充実している。
 - ・方略が魅力的で優れている。（見学がない，症例数が多い，勉強会，講習会への参加，地域医療（乳幼児，3歳児，幼稚園等の検診など）への参加）
 - ・研修目標が明示，共有されている。
 - ・指導歯科医が研修歯科医に対して模範的である。
 - ・研修歯科医について，常に迅速に管理型施設と情報共有・連携ができる。
 - ・研修管理委員会に参加し，意見を述べる。
 - ・臨床研修に関する規則（書類の提出期限なども含む）を遵守する。
 - ・研修歯科医の交通費などの手当を支給してくれる。
 - ・職位にかかわらず意見を言える環境である。
 - ・臨床研修を行っていることを患者へ周知している。

2. 協力型臨床研修施設である歯科診療所で，管理型臨床研修施設また

は研修歯科医とトラブルを招いたなど，気をつけなければならない事例

1と同じく，意見が多かったものから順に列挙する。

- ・施設要件（指導歯科医数，歯科衛生士数，常勤歯科医師数など）を満たさなくなる。
- ・管理型臨床研修施設へ期限までに書類を出さない。
- ・決められた休暇・休憩を与えない
- ・給与を出さない。
- ・分院などの指定されていない診療所で研修を行う。
- ・指導歯科医の不在が多いなど，適切でない研修実施状況
- ・研修歯科医の人格否定
- ・不十分な指導・フィードバック
- ・指導内容の不統一・不平等
- ・管理型施設との勤務体制の乖離（シフト制・休日勤務など）
- ・社会保険未加入
- ・パワーハラスメント・セクシャルハラスメント
- ・スタッフの臨床研修への不理解・不協力
- ・研修目標と乖離した方略
- ・不十分な安全管理・感染予防体制
- ・管理型との連絡・連携が不十分

D. 考察

1. 協力型臨床研修施設である歯科診療所で行われた研修の良い事例について

良い研修事例については，スタッ